

計画概要

茅ヶ崎市赤松町3536-2 (住居表示: 赤松町3-8)  
 第一種住居地域(60%/200%→160%)  
 第3種高度地区  
 準防火地域  
 北側斜線: 無、日影規制(高さ10m超時): 5h/3h

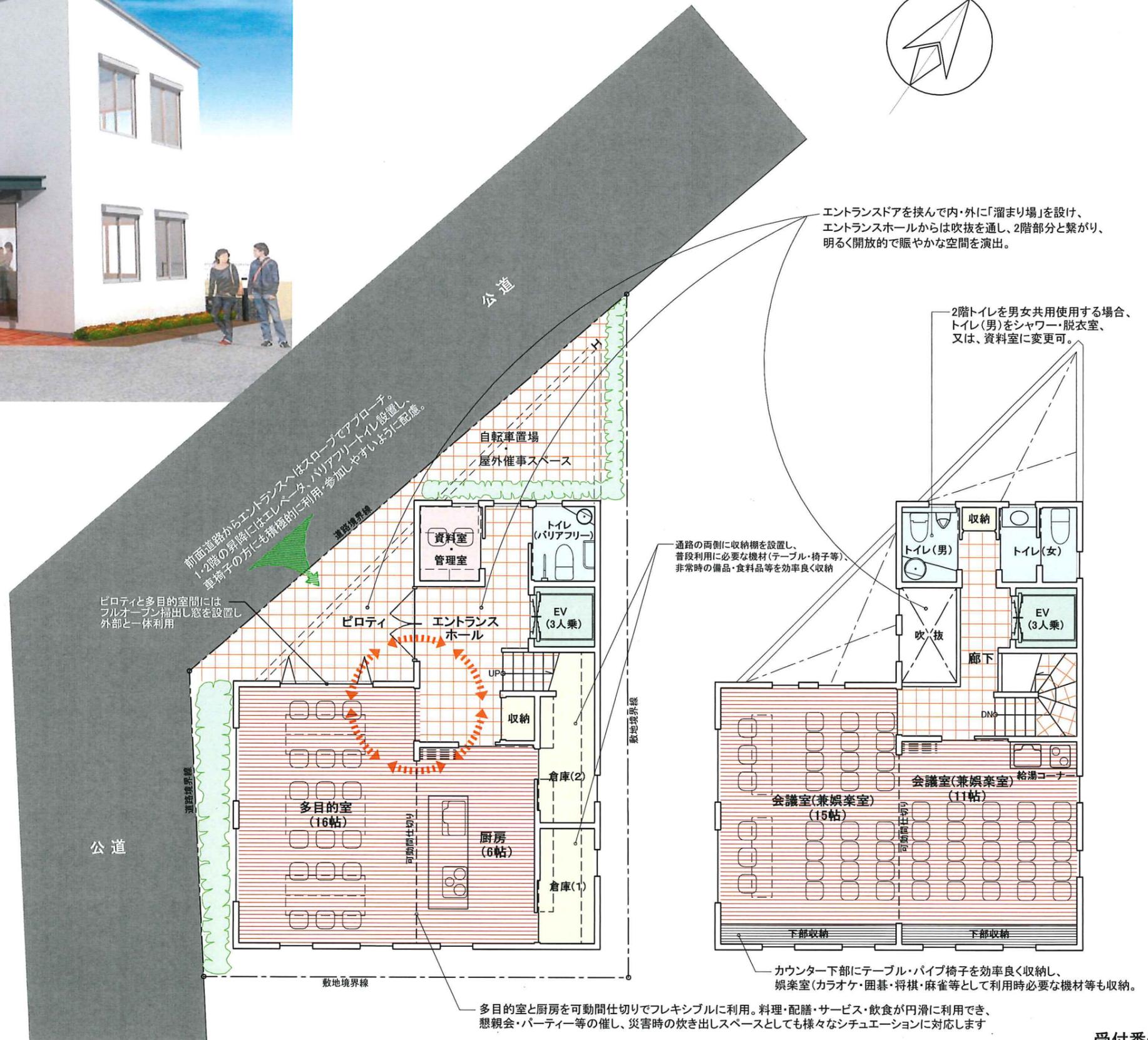
敷地面積 = 109.38㎡(33.0坪)

建築面積 = 65.21㎡(19.7坪)  
 (許容建築面積=65.62㎡)

1階床面積 = 65.21㎡(19.7坪)  
 2階床面積 = 62.10㎡(18.7坪)  
 延べ床面積 = 127.31㎡(38.5坪)  
 (許容延べ床面積=175.00㎡)

構造: 木造軸組(建築基準法の1.5倍の耐震性能を目標)  
 階数: 2階建て  
 屋根: ガルバリウム鋼板タテハゼ葺

太陽光発電設備: 0.198KW×29枚=5.74KW(最大出力)



配置・1階平面図 S=1/100

2階平面図 S=1/100



隣接地に対して、現会館より高さを抑えたシンプルな外観を配慮。  
ガルバリウム鋼板タテハゼ葺の屋根は、将来のメンテナンスを低減し、太陽光発電システム設置時の屋根ビス穴不要とし、雨漏れを回避。



ピロティ廻り

1階多目的室(画像右手側)は、必要時には直接外部に出入り可能なフルオープンな掃出し窓とし、外部と一体的な利用ができ、土足のまま気軽に立ち寄り・出入りが可能。

防雨・遮光対策として、随時、意匠梁(H鋼)と外壁を三角形のテント地を張り(面積不算入)、軒下空間として半屋外空間として利用が可能。

内外から見通しが良く、賑わいを感じ気軽に立ち寄りたい気分を高めるように配慮し、デメリットとなる「管理・西日」の対策としては、外付けブラインド設置を検討。



1階エントランスホール廻り

エントランスドアを挟んで内・外に「溜まり場」を設け、エントランスホールからは吹抜を通し、2階部分と繋がり、明るく開放的で賑やかな空間を演出。

## 設計主旨

### ■子どもから高齢者まで誰もが気軽に利用し、交流できる施設

目的に応じたいろいろな使い方ができ、出会いや交流のきっかけづくり、子供から高齢者にとっても使いやすく人々が親しみと愛着を持ち、町内のシンボルとなるファサード(外観)としました。

### ■バリアフリー・フレキシブル

館内を全て土足とし、1・2階の昇降にはエレベータ、バリアフリートイレ設置し、車椅子の方にも積極的に利用・参加しやすいように配慮。1・2階の室を可動間仕切りとすることで、様々な利用と、今後のニーズにも応え続けられる弾力的な空間とした。

### ■高い耐震性能

災害時には、防災拠点としての機能を果たすべく、高い耐震性能(建築基準法の1.5倍を目標)とした。

### ■自治活動がより一層活性化される拠点

地域イベントや、住民の多種多様な活動の場を併せ持つことにより、より活発な街づくり・自治活動が実践されることが期待されます。

## 工事費用 総工事費 3,400万円

建築本体工事費(設備工事含)	2,700万円
既存家屋解体工事費	150万円
外構工事費	50万円
設計監理費	248万円
計(税抜)	3,148万円
消費税(8%)	252万円
合計	3,400万円

別途参考費用  
太陽光発電設備(シャープ製)  
0.198KW×29枚=5.74KW(最大出力) 税込約258万円